



対外的情報省を設立し、食料危機に対応することを求める意見書の提出に関する陳情書

陳情の趣旨

我が国が、東アジアで戦争に巻き込まれ、主要な食料の輸入が全面停止し、国内の食料備蓄が枯渇した時、多数の人々が、飢餓状態に陥ります。

このような事態にならない為に、常時食料輸入先の政治動向の把握が必要です。国に対して、対外的情報省を設立し食料危機に対応することを求める意見書の提出をお願いする次第です。

陳情の理由

世界は戦争の時代に突入しました。ロシアがウクライナに侵略戦争を始め、中東では、イスラエルとハマスが武力衝突を繰り返し、中東全体が不安定化しています。

東アジア地域では中国が拡張政策を進め、北朝鮮も核実験を繰り返し、東アジア全体に緊張関係が高まっています。又東アジアで戦争が勃発すれば、我が国は、輸出入が途絶え、食糧備蓄は底をつき食料危機が発生し、国民は飢餓状態に陥ります。

この為、常日頃有志国と連携し、食料輸入先の政治動向等を得る事が重要です。国に食料危機に対応するため対外的情報省を設立するよう意見書の提出をお願いする次第です。

令和6年9月5日

京丹後市議会議長 中野 勝友 様

社会の歪を鋭く追及
政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」
代表 加藤 克助
愛知県安城市